



こしんでん

令和4年8月26日発行

— 第7号 —

浅羽東小学校のHP <https://asabahigashi-e.fukuroi.ed.jp>

学校メールアドレス asahigashi-s@fukuroi.ed.jp



令和4年度東小重点目標【自分も 相手も 大切にする子】

夏休み前に始まった新型コロナウイルス感染症の第7波による感染拡大は、依然深刻な状況です。県内の感染者数も、今週に入って最多を更新しました。

本日から、2学期が始まりました。コロナの感染拡大と熱中症に十分気をつけながら、教育活動を進めてまいります。コロナの感染拡大防止については、校内での感染が拡大することがないように、保護者の皆様にも以下の点について御協力をお願いいたします。

- ・時と場に応じたマスクの着用、手洗い・うがいの徹底について、お子様と確認してください。
- ・本人及び御家族の中に少しでも体調不良の方がいる場合は、登校を控えてください。

2学期に予定しております行事等につきましては、状況に応じた対策を講じた上で、計画通り実施していく予定です。心配なことなどがありましたら、その都度遠慮なく御相談ください。

長期休業明け、登校する子どもたちの中には、表情がさえない子、疲れ気味の子も見受けられました。もしかしたら、自分自身もそうだったのかもしれない。それでも正門に立ち、目を合わせて「おはようございますっ！」と元気にあいさつしてくれる子、ニコリと笑顔を見せてくれる子、優しく丁寧に頭を下げてあいさつしてくれる子と接しているうちに、自分の中にエネルギーがわき上がってくるのを感じました。

学校に、主役である子どもたちが戻ってきました。学校は、人と人がふれあって、人の温かさを感じながらかわり合って生活する場所、互いに高め合い、成長への刺激を与え合える場所です。登校してくる子どもたちとのふれあいを通してそのことを実感することができました。

今朝も多くの学校ガードボランティアさんの見守りの中、子どもたちが登校してきました。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをいただきながら、子ども一人一人の成長を支援していきたいと思えます。

2学期の始業式もリモートで実施しました。始めに6年2組に転入した新しいお友達を紹介しました。パソコンの画面越しに全校のみなさんの前で紹介され、緊張したと思います。浅羽東小での新しい生活が充実したものになることを願っています。

つづいて、2年生、4年生、6年生の代表児童3人が決意発表をしました。一人一人、算数の勉強や、持久走記録会、登校班リーダーとしての役割など、自分がこの2学期にがんばろうと思っていることを堂々と発表することができました。聞いていて「自分もがんばるぞ！」という気持ちになった人も多かったと思います。



6年生、4年生、2年生の代表児童のみなさん。
堂々としたすばらしい発表をありがとう。



転入生です。
よろしくお願いします。

この2学期にがんばろうと思っていることを堂々と発表することができました。聞いていて「自分もがんばるぞ！」という気持ちになった人も多かったと思います。



新学期、登校してくる子どもたちのために黒板にメッセージを書いた先生がいました。掲載した写真の黒板には「ワクワク」という言葉が並んでいます。子どもたちにとって、学校がワクワクするような場所になることを願っています。

始業式で校長から子どもたちに伝えた話の中で、1学期の終わりに実施した学校評価アンケートの数値を示しました。

理想は、どの子にとっても楽しい学校ですが、実際は、すべての子どもが「学校が楽しい」と答えているわけではありません。

学校が「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答している児童がいるというのは、悲しく、心苦しいところです。

楽しい学校とは、どういう学校でしょうか。子ども(人)はだれでも、成長したい、よりよい自分になりたいという願いをもっています。子ども

たちの願いが叶えられる学校を目指したいです。勉強がわかるようになりたい、優しい人になりたいなど、「なりたい自分」を目指して成長する場所が学校です。そして、友達や先生、地域の人など、成長を支えてくれる多くの存在のある場所が学校です。

始業式では、自分だけでなくみんなが「楽しい」と思える東小にするために、力をかけてほしいと子どもたちにお願しました。学校の主役は子どもたち、学校をつくっていくのは子どもたちです。一人一人が、今年目標である「自分も相手も大切にする子」に近づいていくことで、浅羽東小がだれにとっても楽しい学校になると信じています。

そのために、まずは自分の理想や目標をしっかり思い描くこと、自分や自分のまわりを正しく、そしてよく見るために視点を変えてものごとを見られるようになること、人の気持ちなどを想像できる力をつけていくことを子どもたちに求めました。

4ヶ月後、「2学期、楽しかったね。」という声がたくさん聞かれることを期待しています。

